



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月1日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 矩男  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 管理本部長兼財務部長 (氏名)荻野 守 (TEL)03-3419-7893  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	970,279	10.5	14,336	81.5	18,798	51.9	10,330	△6.1
27年3月期第3四半期	877,782	△2.3	7,900	△24.3	12,371	△18.1	10,997	20.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 14,546百万円(20.8%) 27年3月期第3四半期 12,045百万円(26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	150.06	136.49
27年3月期第3四半期	146.03	145.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	702,800	166,938	23.7
27年3月期	599,950	157,371	26.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 166,881百万円 27年3月期 157,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	13.00	—		
28年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250,000	7.6	15,900	58.7	21,800	37.1	11,600	△14.3	168.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	78,270,142株	27年3月期	78,270,142株
28年3月期3Q	9,657,575株	27年3月期	8,236,448株
28年3月期3Q	68,842,580株	27年3月期3Q	75,306,403株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の医療用医薬品市場は、ジェネリック医薬品の使用促進などの医療費抑制策の影響があったものの、新薬創出加算品や新薬による市場拡大により前年同期比7.9%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）のプラス成長となり、当社グループの医薬品卸売事業は前年同期比11.0%の成長となりました。

当社グループは今後の市場環境の変化に対応するために、引き続き、患者さまや医療機関が抱える問題を解決するための様々な顧客支援システム・サービスの開発・提案に取り組み、医療と健康に関する幅広い分野で存在価値を発揮する付加価値サービス型ビジネスモデルへの変革を推進しました。また、今後の医療・介護の提供体制の見直しによる地域包括ケアシステムの構築に貢献すべく様々な取り組みを行っております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高970,279百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益14,336百万円（前年同期比81.5%増）、経常利益18,798百万円（前年同期比51.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,330百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、引き続き、適正利益の確保とフィービジネスの拡大に積極的に取り組み、一方でオペレーションコストの低減を図りました。また、調剤薬局業務をトータル的にサポートする「調剤ENI-Pharmaシリーズ」と自動音声認識薬歴作成支援システム「ENIFvoice SP」とを一体化させた提案や、初めて受診する医療機関をインターネットで探す患者さまが、医療機関のホームページや医療機関検索サイトから、診察の事前受付ができる「初診受付サービス」等に注力するなど、独自の顧客支援システムを基軸とした提案型の営業活動を推進しました。

その結果、売上高は932,386百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益（営業利益）は12,707百万円（前年同期比67.7%増）となりました。

調剤薬局事業においては、業容の拡大を進めるとともに調剤報酬の方向性に対応した店舗運営による収益性改善策の推進と統一化されたシステムによる管理業務の集約化と効率化を図りました。

その結果、売上高は73,505百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,908百万円（前年同期比315.8%増）となりました。

治験施設支援事業では、受託が順調に推移した結果、売上高は401百万円（前年同期比66.4%増）、セグメント利益（営業利益）は222百万円（前年同期比155.3%増）、情報機器販売事業においては、売上高は891百万円（前年同期比1.9%減）、セグメント損失（営業損失）は113百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

## （資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22.6%増加し、527,166百万円となりました。これは、現金及び預金が12,878百万円、受取手形及び売掛金が67,398百万円、商品及び製品が14,879百万円それぞれ増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、175,633百万円となりました。これは、投資有価証券が8,024百万円増加し、のれんが1,806百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17.1%増加し、702,800百万円となりました。

## （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて24.5%増加し、485,764百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が104,070百万円増加し、未払法人税等が3,435百万円、その他のうち未払消費税等が3,426百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少し、50,096百万円となりました。これは、長期借入金が2,839百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて21.1%増加し、535,861百万円となりました。

## （純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、166,938百万円となりました。これは、利益剰余金が8,652百万円、その他有価証券評価差額金が4,215百万円それぞれ増加した一方、自己株式が3,263百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月6日発表の平成28年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,510	57,388
受取手形及び売掛金	279,119	346,518
有価証券	602	603
商品及び製品	73,229	88,108
その他	32,983	34,937
貸倒引当金	△411	△389
流動資産合計	430,034	527,166
固定資産		
有形固定資産	84,516	84,310
無形固定資産		
のれん	9,108	7,302
その他	3,053	2,595
無形固定資産合計	12,162	9,897
投資その他の資産		
投資有価証券	64,354	72,379
その他	10,664	10,802
貸倒引当金	△1,783	△1,757
投資その他の資産合計	73,236	81,424
固定資産合計	169,915	175,633
資産合計	599,950	702,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	360,689	464,759
短期借入金	6,868	5,218
未払法人税等	6,454	3,019
賞与引当金	3,557	1,659
役員賞与引当金	78	57
返品調整引当金	337	432
厚生年金基金解散損失引当金	170	170
その他	12,025	10,447
流動負債合計	390,179	485,764
固定負債		
社債	15,071	15,060
長期借入金	8,768	5,929
退職給付に係る負債	1,636	1,735
資産除去債務	1,084	1,096
負ののれん	102	82
その他	25,735	26,193
固定負債合計	52,398	50,096
負債合計	442,578	535,861
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	47,814	47,814
利益剰余金	95,862	104,515
自己株式	△13,024	△16,287
株主資本合計	141,303	146,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,306	24,522
土地再評価差額金	△4,276	△4,333
その他の包括利益累計額合計	16,030	20,189
新株予約権	37	57
純資産合計	157,371	166,938
負債純資産合計	599,950	702,800

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	877,782	970,279
売上原価	797,273	884,033
売上総利益	80,508	86,245
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	35,599	34,936
賞与引当金繰入額	1,727	1,651
役員賞与引当金繰入額	58	57
退職給付費用	157	186
福利厚生費	5,944	5,813
車両費	1,176	956
貸倒引当金繰入額	△58	△39
減価償却費	3,515	3,494
のれん償却額	1,899	1,920
賃借料	5,278	5,216
租税公課	941	1,090
仮払消費税の未控除費用	3,817	4,066
その他	12,548	12,558
販売費及び一般管理費合計	72,608	71,909
営業利益	7,900	14,336
営業外収益		
受取利息	31	46
受取配当金	1,148	934
受取手数料	2,183	2,297
負ののれん償却額	355	19
持分法による投資利益	16	47
その他	1,612	1,724
営業外収益合計	5,347	5,070
営業外費用		
支払利息	254	154
不動産賃貸費用	444	347
その他	177	106
営業外費用合計	876	608
経常利益	12,371	18,798



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	59	153
投資有価証券売却益	6,207	-
その他	113	24
特別利益合計	6,380	177
特別損失		
固定資産処分損	164	285
投資有価証券評価損	-	1,219
減損損失	260	128
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	170	-
その他	31	5
特別損失合計	626	1,639
税金等調整前四半期純利益	18,124	17,336
法人税、住民税及び事業税	8,255	5,730
法人税等調整額	△1,127	1,275
法人税等合計	7,127	7,006
四半期純利益	10,997	10,330
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,997	10,330

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	10,997	10,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,014	4,204
持分法適用会社に対する持分相当額	33	11
その他の包括利益合計	1,048	4,215
四半期包括利益	12,045	14,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,045	14,546
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	808,185	68,628	241	727	877,782	—	877,782
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	31,705	36	—	181	31,924	△31,924	—
計	839,891	68,664	241	908	909,706	△31,924	877,782
セグメント利益又は損失(△)	7,575	458	86	△127	7,994	△94	7,900

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	895,649	73,486	401	741	970,279	—	970,279
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	36,736	19	—	149	36,906	△36,906	—
計	932,386	73,505	401	891	1,007,185	△36,906	970,279
セグメント利益又は損失(△)	12,707	1,908	222	△113	14,724	△388	14,336

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。